

定例山行

ふくじやま 福地山

標 高 1672m

所在地 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷

地形図 1/2.5 万地図 焼岳

期 日 令和8年6月21日（日曜日）

天 候 曇りのち晴れ

参加者 29名（男性10名・女性19名）

GCL S・M GSL S・Y GSL H・C

GCL から登山 2 日前に、雨具や登山靴の防水処理、登山後の濡れた用具を入れる袋の準備等の連絡がある。また前日には集合時間を遅らせ、「雨の中の山歩きはしっかり足元を確認しながら行きましょう」との連絡もあった。

6:30 新富バスセンターを出発。自宅からバスセンターに向かっている間は雨が降っていたが、晴れてくれた！

7:30 道の駅スカイドーム神岡でトイレ休憩。

8:25 福地山登山口駐車場に到着。曇り。
登山準備、ストレッチをする。福地温泉の朝市が開いている。
「降りた後、ソフトクリームを食べたい」との声がする。

8:40 1、2、3、4 班の順に登山を開始。
道は湿り気があり、歩きやすい。右手は小川、左手には杉林、鳥の声が聞こえる。

9:10 休憩 6 分。衣類調節。水分補給。
ヤマアジサイやヤマオダマキに元気をもろう。



ヤマオダマキ

9:15 『獣出没注意。ここから 24 折』の看板の後、つづら折りが始まる。
時々、日ざしあり、木々の合間から差し込む光や緑の葉。
その後、尾根コースと谷川コースの分岐。

GCL から「尾根コースに行きます。頑張りましょう。木の根は踏まないで」と声かけがあり、急登が始まる。息が上がる。

10:00 懺然平（むぜんだいら）に到着。晴れ。10 分休憩。
毛糸の帽子をかぶったかわいい石像がある。帰宅後、調べると“大正時代に飛騨地方の社会教育に貢献した篠原懺然さんの石像。地元の青年達と乗鞍岳の登山道を整備。36 歳の時、雪の安房峠で遭難し亡くなられた”と知る。



尾根コースで鍛えます！

- 10:15 再び、谷川コースと尾根コースの分岐点。もちろん、尾根コースに行く。たくさんの幹に分かれた杉や透明感が美しいギンリョウソウを写真に収める。
- 10:55 3分休憩。水分補給。セミの声が聞こえる。
- 11:00 第4展望台。心の目で焼岳を見る。
- 11:15 山頂に到着。集合写真撮影。晴れていれば、焼岳、槍ヶ岳や穂高連峰の絶景が広がっていた。残念。山頂に剣がある。剣がお腹に刺さったように見えるアングルで写真撮影を楽しむ人もいる。班毎に昼食を摂る。



福地山の山頂



フォトスポット 伝説の剣

- 11:50 雲行きが悪くなり、4、3、2、1班の順で下山開始。その直後、雨が降り出した。やはり、そんなに上手くいかないよね。雨具を着る。しかし、数分だけの雨。暑い。雨具を脱ぐ。第4展望台を通過、やはり山は見えない。
- 12:25 第2展望台の後、下山は谷川コースを進む。
- 12:40 慥然平に到着。休憩10分。この後も谷川コースを選ぶ。
- 12:55 東屋がある。
- 13:25 3分休憩。
- 13:45 全員、無事に登山口に戻る。皆、「雨が降らず、良かった」と笑顔。

- 14:00 新富バスに乗り、登山口駐車場を出発。
- 14:48 道の駅スカイドーム神岡でトイレ休憩。
いつものお約束！ソフトクリームを堪能して、皆、笑顔。
TV の電波がなかなか繋がらなかったが、サッカーワールドカップ、
森保ジャパンの勝利を確認。
GCL から「梅雨に入ったのに雨にあたらずに良かった。皆さんの日頃の
精進のおかげ。夏山に向けて鍛えて下さい」と挨拶がある。
- 15:50 新富バスセンターに到着。解散。

登山前日、北陸地方が梅雨入りし、朝までは雨。登山口へ向かうまでは雨具を着て濡れながらの登山、山頂では立ってお昼を食べる事を覚悟していました。
雨は下山開始後の数分のみ。奇跡です。
役員の皆さん、安全第一を考慮した準備や指示など、本当にありがとうございました。

(No. 896 I・S)